



# 地震 日頃から地震に備えよう!

**震度 5弱** 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。

耐震性の低い木造建物は、壁などに軽微なひび割れ・亀裂が入ることがある。

固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは、倒れることがある。

亀裂や液状化、落石、けがれ崩れが発生することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。

**震度 5強** 物につかまらなると歩くことが難しい。

耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、壁・梁・柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。

棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。

補強されていないブロック塀が崩れることがある。

**震度 6弱** 立っていることが困難になる。

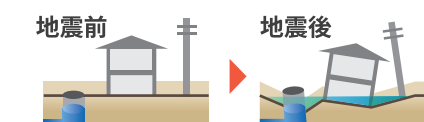
耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

## 液状化の発生も考えておきましょう

液状化が発生すると、建物の倒壊や道路の沈下が起こり、通行が難しくなる場合があります。液状化が発生する可能性がある場所をあらかじめ確認しておき、より安全に避難できるルートを考えてみましょう。



**震度 6強** はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。

耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。

固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。

大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

**震度 7** 動くこともできず、飛ばされることもある。

耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。

耐震性の低い鉄筋コンクリート造建物では、倒れるものが増える。

広い地域でガス、水道、電気の供給が停止することがある。

大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山の斜面の崩壊が発生することがある。

## ハザードマップで自分の居場所の危険を知ろう

P.11 ~ P.38

和気町では大部分が震度5強です! (最大震度6弱)

地震発生!

The Great Japan Shake Out

高層階はより大きく揺れます

火事に注意しましょう

ブロック塀に注意しましょう

家、建物の中でも比較的安全な場所に移動しましょう

壊れた建物に注意しましょう

車は道路の左脇へ寄せ、鍵はつけたままで避難しましょう

避難場所

避難所

### まずやること

#### シェイクアウト

低い姿勢で、頭を守って揺れがおさまるのを待ちましょう。



### 避難時の注意 - あわてず、冷静に

#### すばやく火の始末

「火を消せ!」とみんなで声を掛け合い、調理器具や暖房器具などの火を消しましょう。

#### 周りに気を付けよう

塀が倒れたり、火災が発生します。ガラスや瓦などの落下物に注意しましょう。

#### 余震に注意

余震が繰り返し起こります。あらかじめ危険の少ない避難経路を調べておきましょう。

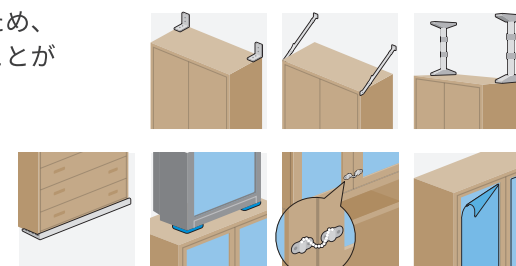


### 家具の転倒防止対策

#### 家具の下敷きにならないように固定しましょう

地震によるけがを防止するため、各家庭において対策を行うことが大変重要です。

- L字金具 ● チェーン固定
- 突っ張り棒
- 家具転倒防止板
- 粘着マット ● 開き戸固定
- ガラス飛散防止フィルム



### 水・食料の備蓄

#### 3日間をしのぐ

震災直後は、冷蔵庫の中をはじめ、台所周りに買い置きしている普段の食材・飲料水を工夫して食べましょう。

飲料水は、1人で1日3リットル  
3リットル × 家族分(4人) × 3日間  
= 36リットル(2Lペットボトル18本分)

詳しくは P.43 へ

## いろんな場所での対応の仕方

地震から命を守るために、いざという時のとっさの避難行動や、安全でスムーズに避難するための方法を日頃から考えておきましょう。

### 家の中



- 頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- ガス器具、ストーブなどの火を消しましょう。(元栓を締める)
- 電気ブレーカーを落としましょう。

### 職場・学校



- カバンなどで頭を保護し、机の下などに逃げましょう。
- 本棚などの転倒に注意しましょう。

### 店舗・スーパー等



- 頭を保護し、ショーケースなどから離れましょう。
- 壁や太い柱に身を寄せましょう。あわてて出口に殺到せず、係員の指示に従いましょう。

### 人が大勢いる場所



- あわてて走り出すと危険です。係員の指示に従って落ち着いて行動しましょう。

### エレベーター



- すぐに各階のボタンをすべて押し、停止した階でおりましょう。
- 閉じ込められた場合は、非常ボタンを押し続け外部に助けを求めましょう。

### 狭い路地



- 狭い路地、塀ぎわでは瓦などが落ちてきたり、建物や塀、電柱が倒れてきたりするので遠ざかりましょう。

### 自動車の運転中



- 道路の左側が空き地に車を止め、エンジンを止めましょう。
- 警察官が交通規制を行っている場合は、その指示に従いましょう。
- 車を離れるときはキーをつけたままにし、ドアをロックしないでおきましょう。

### バスや電車の中



- 急停車することがあるので、つり革や手すりなどにしっかりとつかまりましょう。
- 途中で止まっても勝手に行動せず、乗務員のアナウンスに従って落ち着いた行動を取りましょう。